

MRI 検査を安全に受けていただくために

MRI（核磁気共鳴画像装置）は、磁場と電波を利用してトンネル型の空間内で体内の詳細な画像を撮像する検査です。以下に検査に関する重要な情報をお伝えしますので、ご確認下さい。

1. 検査の禁忌項目

- ・以下の①～④が体内にある場合、磁場により被検者に危害が及ぶ可能性があるため MRI 検査を受けて頂くことが出来ません。

- ①平成 12 年（2000 年）以前に施術された脳動脈クリップ ②MRI 非対応の医療機器
- ③目や脳に金属片がある ④乳房再建エキスパンダー

2. 事前の対応や確認が必要な項目

◆【MRI 対応心臓ペースメーカー・植込み型除細動器】→ 循環器デバイス外来の受診が必要です。

※依頼医は、電子カルテ端末の『院内ポータル』→『各種マニュアル』→『放射線センター』内の『条件付き MR 検査対応デバイス埋め込み患者に対する MR 検査の運用』を参照して下さい。

- 【MRI 対応人工内耳】→検査当日に埋め込み部をガーゼで覆い、テープで固定して検査を実施します。
- 【脊髄刺激装置】→入室前に患者様自身で電源をオフにしてください必要があります。
- 【水頭症シャント手術による可変式バルブ】→脳神経外科に事前にご相談下さい。
- 【歯科インプラント、骨折治療のボルト、子宮内リングなど】→治療した医師や各施設に検査可能かご確認下さい。
- 【持続血糖測定センサー（リブレセンサー）】→入室前に外していただく説明をお願いします。
- 【シール型薬剤（ニトロダームなど）】→発熱した場合、薬剤の溶出時間が変わるため事前に申告して頂く説明をお願いします。
- 【尿路カテーテル用 DIB キャップ】→金属のないキャップへの交換が必要です。
- 【入れ墨（タトゥー）、アートメイク】→やけどや検査中に刺激による違和感が生じる可能性があるため事前承諾が必要です。
- 【狭いところが苦手（閉所恐怖症など）】→静脈注射で鎮静する場合、通常検査と異なるため、MRI 室（内線 1142）にご連絡下さい。

3. 検査当日の注意事項

以下のものは金属（磁性体）を含むことがあり、除去もしくは当日の使用を避けて下さい。使用している場合、検査および診察の予約日時の変更をお願いすることがあります。

- ①【化粧品】【増毛スプレーやヘアカラーズスプレー・ファンデーション】当日はノーメイクで、毛髪に何も付けず来院していただくこと
 - ②【ネイルアート（マグネットネイル・ジェルネイル）】MRI 検査当日までに除去していただくこと
 - ③【コンタクトレンズ】めがねもしくは、保存容器を持参していただくこと
- 上記3点について説明をお願いします。